

「新たな可能性を拓く」

神林ACA代表取締役

古畑 英俊さん

不順な天候に耐え日ごとに色を濃くする水田と、かすかに色づき始めた大麦の穂波が整然とブロック化された圃場の一角。

古畑英俊さん(54)のハウスでは、まだ夜の明けきらない中セルリーの収穫作業が最盛期を迎えている。

古畑さんはUターンで就農以来15年、家族と協力しながらセルリー50a・アルストロメリア10a・水田5haの経営を確立し、地域の中核的専業農家として活躍している。同時に本年2月に設立された株式会社神林ACA(アグリカルチャー・コントラクト・アソシエーション)の代表取締役役に選任された。

前身の受託者部会長として神林地区集落営農をしっかりと支えながら、更なる前進を目指して法人化に向けての研究会、準備会、発起人会へと一歩一歩進めて来た一年半を「雲をつかむようで大変だった。

だが、良い勉強になった」と振り返る。

「結集した21人の仲間の自覚と信頼が一層深まった」と確かな手応えも感じている。「地域の農業者との調和を保ちつつ、耕作放棄地を作らないよう、社員一丸となって農業の可能性にチャレンジしたい」...、厳しい農業状況を打開すべく、ガツチリとスクラムを組んだ積極果敢な挑戦が大いに期待される。

麦秋近し、ガンバっています!!

記事 神林地区農業委員

百瀬 茂敏



セルリーハウス内で

がんばっています

「夢の実現に向けて」

昨年一年間の農業実習を終え本年度4月より新規就農いたしました。農業一年生です。

私の実家は田畑もなく農業知識もありません。何もない所からのスタートでした。先ず何をしたらよいかも分からないままただ農業がしたい、先輩たちの様な経営者になりたいと農業の世界に飛び込みました。

そんな時心優しい先輩から声をかけていただき、一年間農業実習を経て今年自立しました。

長ネギ、ジュース用トマトを中心に栽培しています。

「農業は毎日が勉強だよ」と先輩から教わりました。本当に毎日が勉強だと実感しています。日々の天候の変化により作業内容が変わってしまうからです。

まだまだ学び工夫していかなくてはなりません、一日一日を大切に積み重ね立派な農業経営者になることが、私を支え導いてくださった先輩方々への恩返しと思い農業に取り組んでいきます。

そして少しでも地元の農業活性化にも貢献していきたいと思っています。

中山地区 松下 隆明

『自分で栽培したものを活かした料理を出す店を持つ』という夢の実現に向け農業の道を選び就農した若者です。

シカ・イノシシの防護柵が設置され、農業環境は格段に改善されたこの地区でよき先輩に習い農業経営の「計画・実行・結果の確認・改善」を積み重ね夢を実現してほしい。

中山地区農業委員 丸山 孝昭



植えたばかりのネギの畑で